

校長のつぶやき

校長室便り 第6号

令和元年5月11日 山内

5月9日(木)1年生が総学の時間に「岩出山地域探訪」で学校から有備館を目指しましたので、嶺岸教頭先生とともに「五感を意識しながら」同行しました。松尾芭蕉の銅像からしそ巻き・かりんとう看板の永根商店さんの前を通過して竹工芸館を過ぎ、内川にかかる二ノ構橋を渡って学問の道を経て有備館まで歩きました。史物に触れ昔に思いを馳せるとともに、有備館内の新しく建て替えられた柱に手で触れると震災は沿岸部だけではなく、ここ内陸の岩出山にも大きな打撃を与えたのだなと現代のことも実感できる貴重な日でした。各クラスの代表に感想を聞きました。

○1年1組 佐々木 珠莉奈 さん

岩出山の町はとても特産物などのお店が多いなと感じました。また、体験施設などもあり、商店街の皆さんは岩出山のために頑張っていることが分かりました。有備館は樹木が多くありましたが一つ一つの木がしっかり補強等なされていました。また、震災時にはかなり壊れたと聞いていましたがしっかりと修復されていて驚きました。有備館の歴史はこの町の象徴であり、守っていくべきものだと思います。

○1年2組 笹川 透真 さん

今回の地域探訪で感じたのは岩出山の自然がすごくきれいということです。歴史も深く、地域の方々が頑張っているからゴミなどもほとんど落ちてなく本当にきれいでした。昔から伝わる建物やその歴史もすごく良かったです。

○1年3組 鈴木 七海 さん

有備館はとてもおちつく場所だと改めて思いました。木々の音や風の心地よさ、虫の音、鳥の声、季節を感じることができました。これまでも何度か来ていますが、震災後も立派に建っているのでもう見てもすごいと思います。いつも通るメインストリートは町の様子や有名な物一つ一つを大切にしているところ。名物のアピールも岩出山の良さなのだと思います。岩出山は自然だけでなく地域や環境に恵まれていると思いました。また、岩中の後輩たちが職場体験で岩出山に貢献しようと一生懸命働く姿を見て私も頑張ろうと思いました。



〔松尾芭蕉の銅像前〕



〔有備館で説明〕

ではこれで今回の校長のつぶやきはお終いです。